

日吉津村地区「集落営農ビジョン」

(人材確保支援型 ・ 規模拡大・発展型支援 ・ 地域計画実現型支援)

※該当する支援メニューに○印を記入

作成日：令和7年12月25日

修正日：令和 年 月 日

市町村名	日吉津村	組織名	農事組合法人ひえづ
1 地区の範囲 西伯郡日吉津村 富吉地区及び日吉津下地区			
2 地区の概要			
水田面積 50.6ha	主な栽培作物 水稻、大豆		
農家数 117戸	地域内の農業を担う者の経営体数 9経営体		
認定農業者数 3経営体	農業支援サービス事業体の経営体数 経営体		
3 組織の概要			
設立時期 (規約等の制定日) 平成19年2月1日	構成農家数 24戸		
組織形態(該当形態に○を記入) ・ 共同利用型 <u>作業受託型</u> <u>協業経営型</u>			
役員の数・年齢 4人(平均年齢 71歳)			
オペレーターの数・年齢 4人(平均年齢 65歳)			
その他集落営農活動に参画している人数・年齢 13人(平均年齢 67歳)			
4 集落営農に対する基本方針			
【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】			
(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標 ※考え方(担い手をどう育成し確保していくか、農地貸借、機械の共同利用、作業受委託、生産の組織化などについて。 農事組合法人ひえづは、日吉津村大豆生産組合を前身として平成19年2月に設立し、認定農業者として、地区内の水田の約45%を集積し、水稻、大豆を生産するとともに、大豆の収穫作業の受託を行っている。 令和7年3月に策定された地域計画においても、地域内の農業を担う者として位置付けられており、新たな構成員やオペレーターの確保に努めるとともに、畦畔撤去による区画拡大など、農作業の効率化を図りながら、将来的には、地区内の水田の54%程度を集積することを目指す。			
(2) 水田の作付計画(水稻以外の作物を含む)、活用方針・具体策 ※考え方(今後伸ばしていく作物は何か。団地化・ブロックローテーション。作物の品質向上。 日吉津村においては、ブロックローテーションによる米の生産調整が行われているため、毎年、日吉津村地域農業再生協議会から示される作物作付計画に基づき、主食用米ブロックにおいては、きぬむすめを中心に作付けするとともに、転作ブロックにおいては、大豆を作付けする。また、適正な肥培管理を徹底し、作物の品質向上に努める。			

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

(3) 農業用機械施設の効率利用

※考え方（省力・低コスト化に向け、機械・施設をどのように有効利用していくか。今後整備が必要なもの、JAが整備している施設をどのようにするか。）

農事組合法人ひえづが現在所有している機械及び施設は、次のとおりである。

【機械】

汎用コンバイン（大豆用）：2台（うち1台は直進アシスト機能付き）、培土機：1台、
水稻コンバイン：1台、田植機：1台

【施設】

農機具格納庫：1棟

組織が所有する大型機械による作業は、4人のオペレーターにより実施しているが、耕耘作業については、個々の構成員が所有するトラクターに頼っており、更新時期に合わせて集約化を検討する必要がある。

また、畦畔の管理については、構成員所有の刈払機又は自走式草刈機によって、年6回行っているが、耕作している筆数が多いため、相当な負担となっている。とくに耕作農地に隣接する水路や道路の法面部分の草刈作業は、時間がかかるだけでなく、危険も伴うため、ラジコン草刈機を導入することで、作業負担の軽減と安全性の向上を図ることができる。

<作業効率>

- ・刈払機：3.3a/時間
- ・自走式草刈機：5.0a/時間
- ・ラジコン草刈機：7.2a/時間

(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針

※考え方（新たな人材をどのように確保し、どのような方法で育成していくか。）

構成員の高齢化が進む中で、新規構成員・若年従事者の確保は、喫緊の課題であり、村内の各実行組合の関係者への呼び掛けを強化するなど、新たな人材の確保に努める。

現在、大型農業機械による作業は、4名のオペレーターで行っているが、70歳以上の者も1名おり、若手構成員に大型特殊免許を取得させるとともに、実務研修や農作業安全研修を通じて、新たなオペレーターを育成していく。

(5) 経営多角化の方針・具体策

※考え方（どのような手法で多角化を図るか。新規作物の導入、販路拡大に向けた自主的な取り組みなどについて。）

I 人材確保型支援実施計画

※規模拡大・発展支援型支援のみを実施する場合は省略

1 人材確保のための取組み方針

【項目】		【実施年度】		
		令和 年度	令和 年度	令和 年度
人材育成研修	実務研修			
	免許取得			
	その他			
集落営農活動への参画				

2 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所：

施工対象面積（畦畔実面積）： ha

本田（＝水張）面積： ha

年数	内 容	面積 (ha)	金 額 (円)	実施年度
1年目				
2年目				
3年目				

注1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

(機械利用対象畦畔面積 ha、本田（＝水張）面積 ha)

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内容	現状 (令和 年度)	事業実施後 (令和 年度)
取組対象 (予定) 面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間作業時間		

注1) 取組対象圃場について記載すること。

2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

3 園芸品目の試作			
項 目	実 施 年 度		
	令和 年度	令和 年度	令和 年度
園芸品目の試作			

4 賑わい活動への参画促進			
項 目	実 施 年 度		
	令和 年度	令和 年度	令和 年度
賑わい活動への参画促進			

II 規模拡大・発展型支援実施計画

※人材確保型支援のみを実施する場合は省略

1 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
項 目		現状 令和7年度	目標 令和10年度
農地の集積	地区内集積面積 A	15.07ha	18.00ha
	対象水田面積 B	33.21ha	33.21ha
	集積率 A/B	45.4%	54.2%
	地区外集積面積 C	2.38ha	2.60ha
	経営面積 A+C	17.45ha	20.60ha
経営の多角化への取組			

注1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。
 注2) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。
 注3) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。

2 農業用機械施設の整備方針					
機械施設名	規格能力	台数等	金額（円）	導入予定年月	本事業による導入機械に○
ラジコン草刈機	仮幅 500mm	1台	1,500,000円	令和8年2月	○

III 添付資料

1 人材確保型支援

- (1) 研修計画一覧（参考様式）
- (2) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）

2 規模拡大・発展型支援

- (1) 集積状況一覧（別表1、2）
- (2) 機械の利用計画（別紙）
- (3) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）